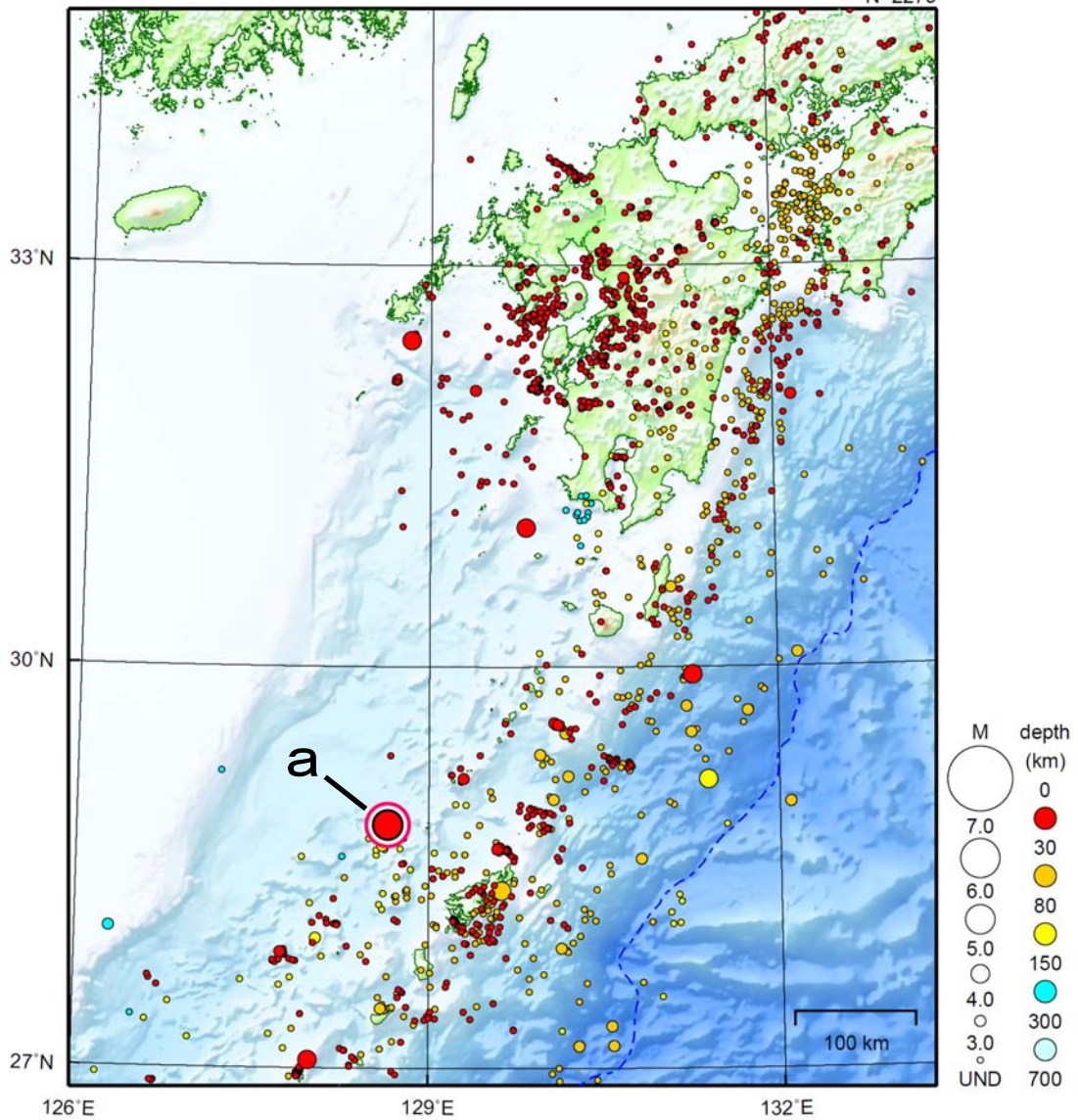


九州地方

2010/06/01 00:00 ~ 2010/06/30 24:00

N=2279



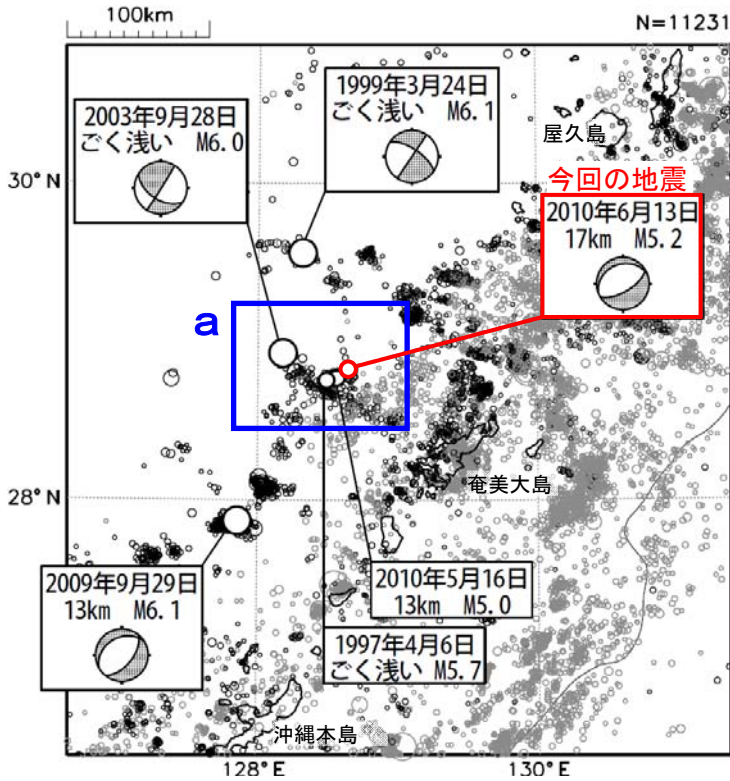
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

a) 6月13日に奄美大島北西沖で M5.2 の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

6月13日 奄美大島北西沖の地震

震央分布図 (1997年1月1日~2010年6月30日、
 $M \geq 2.5$ 、深さ0~80km)
 深さ0~25kmの地震の震源を濃く表示。
 発震機構はCMT解である。

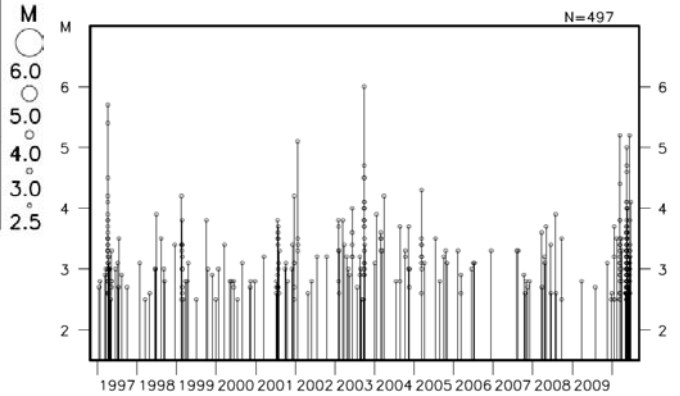


2010年6月13日00時44分に奄美大島北西沖で M5.2 の地震 (最大震度3) が発生した。発震機構 (CMT 解) は北北西-南南東方向に張力軸を持つ正断層型であった。

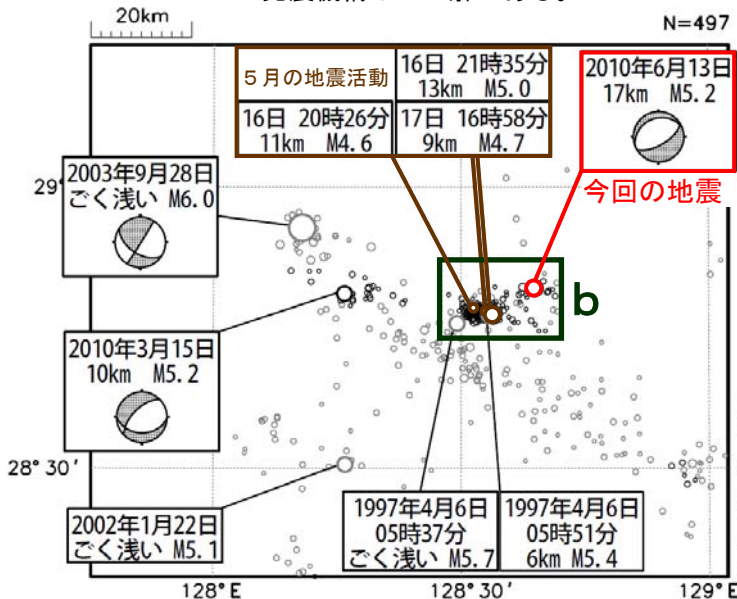
今回の地震の震源近傍では、今年5月16日から地震活動が活発化していた。今回の地震を含む一連の活動では、活動領域が徐々に東に移動した。活動は徐々に収まってきている。

1997年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 a) は周囲に比べて地震活動が比較的活発な場所である。今回の地震の震央近傍では1997年4月にも M5.0 以上の地震2つを含む活発な活動があった。

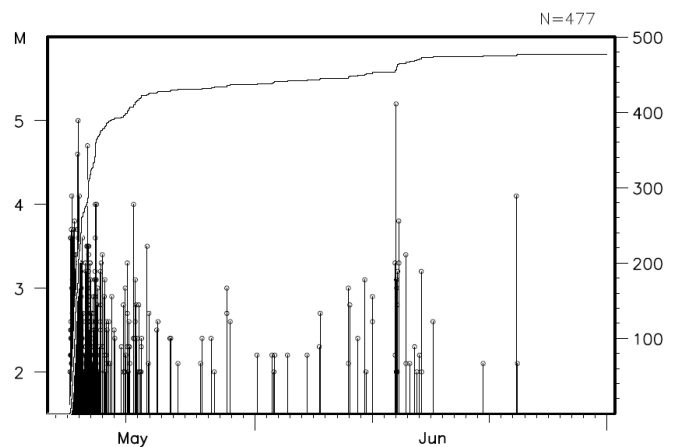
領域 a 内の地震活動経過図 (1997年1月1日~2010年6月30日、 $M \geq 2.5$)



領域 a 内の震央分布図 (1997年1月1日~2010年6月30日、 $M \geq 2.5$ 、深さ0~25km)
 2010年1月以降の地震の震央を濃く表示。
 発震機構はCMT解である。



領域 b 内の地震活動経過図、回数積算図 (2010年5月15日~6月30日、 $M \geq 2.0$)



領域 b 内の時空間分布図 (東西投影) (2010年5月15日~6月30日、 $M \geq 2.0$)

